

留学座談会



異国の地で学ぶ経験が、 新たな学びの可能性を広げてくれる

日本から海外へ、海外から日本へ。岐阜大学が提供する多彩な留学プログラムを利用した、学部や国籍の異なる学生4人に、留学を経験したからこそ学びと将来像について話を聞きました。

語学に文化、研究。 目的に合わせて選んだ留学の形。

リム 皆さんはそれぞれ違うプログラムで留学を経験していますね。学部生の二人は、どんな理由で海外留学をしようと思ったのですか？

溝口 私は海外への純粋な興味から大学生になったら留学したいと思っていて、コロナ禍の制約が無くなった2年次に、英語を習得する短期留学のESL (P10参照)に参加しました。中でも期間が5週間と長くホームステイができるオーストラリアのグリフィス大学のコースを選び、英語での授業を経験しました。

高橋 私は高校時代に英語の勉強をする中で海外の文化にも興味を持ち、留学がしたくて地域科学部に入

学しました。学部の国際教養プログラムの留学先として選んだのは、岐阜大学からの参加実績が多いアメリカのノーザンケンタッキー大学への交換留学です。先輩から、「ダンスなどアメリカらしい授業も受けられる」と聞いて惹かれ、留学中はハロウィンやクリスマスなど現地ならではのイベントも積極的に体験しました。

リム サチラさんはどうして岐阜大学を選んでくれたのですか？

サチラ 子どもの頃からアニメや漫画で日本の生活や文化に親しんできたので、日本に興味がありました。岐阜大学に留学した知人から情報をもらうようになり、中国で大学時代に専攻した動物科学と同じ分野の研究があると知り、修士課程での留学を決めました。修了後は帰国して就職し

ましたが、博士課程で研究を続けるため、また日本に戻ってきました。

リム チェトナさんはジョイント・ディグリープログラム (JDP) ですね。

チェトナ はい。一定期間を岐阜大学で学ぶ予定です。日頃からインド工科大学グワハティ校 (IITG) の先生に、「International Exposure (海外に出ること) を経験して、意識を変えることが大切」と言われていたこともあり、自分に無い視点や技術を学べると期待して来日しました。

コミュニケーションの大切さと 文化の違いを認めること。

リム 実際に留学をして、どんな気づきや学びがありましたか？

チェトナ 最初は静かで落ち着いた

日本の環境に驚きましたが、今では慣れました。インドは車のクラクションや人の話し声が絶えないので、帰国したら戸惑うかも (笑)。

リム 研究の面ではどうですか？

チェトナ お茶の葉に含まれる成分を増やして虫害を防ぐ研究を、インドの先生の共同研究相手である先生方の下で進めています。インドでは主に学内のラボで試験管を使った実験をしていましたが、岐阜大学ではフィールドワークが多く学外のお茶工場を訪れるなどして実験を行い、大型の分析機器を使う技術も習得しています。

サチラ 私は鶏卵の卵白に含まれる酵素であるリゾチームの抗菌メカニズムを研究しています。同じ研究室には猫や犬、ウズラなどの研究をしている人も。中国と違い日本の研究室では、先生の研究と同一テーマでなくても、関心のある研究に先生の支援の下で取り組むことができます。最初は日本語を全く話せなかったのですが、担当チューターと身振り手振りでコミュニケーションを図るうちに仲良くなりました。自信を持って話せば言語能力は向上できることを学びました。

溝口 私も留学して最初のうちは、話す前にどう言おうか頭で考えてしまっていました。でも、ホストファミリーや同じ大学に通う韓国や中国からの留学生が、「おはよう」など知っ

ている日本語を片言でも話してくれたことで、自分ももっとリラックスして英語をしゃべってみようと思えました。伝えたい気持ちを持ってコミュニケーションを取ったことで、視野が広がる貴重な経験ができました。

高橋 私は現地の友人と話す中で、宗教について質問されて明確に答えられなかったことが印象に残っています。友人の多くはキリスト教で、日曜には必ず礼拝に行くなど信仰心が厚く、戸惑いながらも考えさせられました。1年の滞在期間中にはうれしいことやトラブルもありましたが、「この国の人だから」という固定観念ではなく、その人自身を理解する大切さも学びました。

獲得した視点や技術が、 これからの学びや人生の糧に。

リム 留学での学びや経験を今後どう活かしていきたいですか？

高橋 国ではなく人を見るという考え方は、これからの人生全般に活かしていきたいです。将来は海外に関わる仕事に就きたいと漠然と思っていますが、留学中に岐阜市の姉妹都市であるシンシナティで開かれたPRイベントに参加して、岐阜の魅力を改めて感じました。日本の良さを海外に広める活動にも興味を持っています。

溝口 私も具体的な進路はまだ決め

ていませんが、海外との研究や仕事に興味があります。今日、博士課程のお二人の話を聞いて、これから研究に取り組むのが楽しみになりました。在学中に研究留学をしたいとも思いましたし、JDPにも関心を持ちました。まずはIITGで行われるスプリングスクールに参加してみたいですね。

リム 工学部独自の提携校もあるし、修士の留学制度もありますから、ぜひ研究留学してください。工学研究科のJDPは、インドの他にマレーシアもありますよ！

チェトナ 私はIITGに戻って研究の続きに取り組みます。実験装置などは違いますが、重要なのは岐阜大学で学んだ研究の技術。それがあればIITGにある装置や試薬を使って、十分に研究が続けられます。将来、優良企業で活躍するためにも、Ph.D. (博士号) 取得と博士課程修了後に研究に従事するポストドクターを目指します。

サチラ 私はまず、3年間で博士号を取得することが目標です。将来は大学教員になりたいと思っていましたが、今は企業の開発職やポストドクターにも興味があり迷っています。できれば日本で働きたいですね。

リム 岐阜大学では皆さんの夢を応援し、さまざまなサポートを行っています。本日の座談会では、有意義な話を共有できました。皆さんのこれからの活躍を応援しています！



岐阜大学からオーストラリアへ

溝口 翔太 さん
工学部 電気電子・情報工学科
情報コース 3年
2023年度 グリフィス大学ESLに参加



岐阜大学からアメリカへ

高橋 葵 さん
地域科学部 地域文化化学科 3年
2023年8月～2024年5月
ノーザンケンタッキー大学に交換留学



中国から岐阜大学へ

サチラ さん
連合農学研究科 博士課程1年
(中国 内蒙古民族大学卒業)



インドから岐阜大学へ

チェトナ・サルマ さん
連合農学研究科 岐阜大学・
インド工科大学グワハティ校 (IITG)
国際連携食品科学技術専攻
(ジョイント・ディグリー制度) 博士課程2年